

キャラクター名
上里 翔流

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
	ウロボロス				
オプション		年齢	16	性別	男性
覚醒	付与(素体)	衝動	憎悪	初期侵食率	40 %
出自	平凡な家庭	経験	ごくごく平凡な人生	邂逅	平凡な出会い

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	2	1	0			3	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	0	0	1			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	3r+2	0	-5		
【メジャー】						
小細工はナシだ		0	0	0		コンセ(3)+原初の赤:漆黒の拳(5)+原初の赤:浸透撃(5) ガード不可 装甲無視 1シナリオ5回 侵食3dx@7+2(9dx@7+2)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
メモリー	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
特異点-シンギュラリティ	P	N		
上里勢力	P	N		
明空 零奈	P 好奇心	N 不安		
Echo	P 庇護	N 憐憫		
セシナ・クラヴィエ	P 連帯感	N 不安		
赤銅穂乃花	P 好奇心	N 脅威		
紫紺 浅葱	P 尽力	N 不信任		

最大財産P: 2 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ウロボロス	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: クリティカル値-LV(下限値7)								
果て無き円環	1	-	常時	至近	自身	自動	ピュア	
効果: 《原初の赤》エフェクトをふたつ重複して取得できる								
原初の赤:漆黒の拳	5	4	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果: 攻撃力+LV 装甲無視								
原初の赤:浸透撃	5	3	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果: この攻撃に対してガードを行えない 1シナリオLV回								
雲散霧消	8	4	オート	至近	範囲(選択)	自動	-	
効果: 対象が受ける(予定の)エフェクトによるHPダメージを-[LV×5]点する 1ラウンド1回								
背徳の理	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ウロボロスの判定ダイス[LV×2]								
混色の氾濫	5	2	メジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果: 《原初の●》のエフェクトの対象を範囲(選択)に変更する 1シナリオLV回								
世界を喰らうもの	1	5	メジャー	視界	シーン(選択)	-	リミット	
効果: 《混色の氾濫》の効果を組み合わせたエフェクトの射程を視界、対象をシーン(選択)に変更するに書き換える 20点HPを消費する 1シナリオ1回								
原初の黒:リミットリリース	1	6	オート	至近	自身	自動	100%	
効果: クリティカル値-1(下限値5) 1シナリオ1回								
虚無への回帰	1	4D10	オート	至近	単体	自動	120%	
効果: 重圧を受けていても使用可能 対象が受けるHPダメージを0にする 1シナリオ1回								
禁じられし業	1	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象のイージーエフェクトを打ち消す								
効果:								
効果:								

ぼくは上里翔流。どこにでもいる平凡な高校生さ
無趣味で無個性なことを悩んで首の関節を鳴らす癖をつけてみようとしたが、なかなか鳴らない。
不良系の幼馴染がいたが少し前まで疎遠になり、再接近は果たしたが中々上手く会話できない。
クラスの園芸部員にちょっと憧れているが遠目で眺めるだけで満足できる程度だった。しかし向こうのちょっとムツリスケベな内面を知ってしまい少々辟易している。
...という、本当にどこにでもいるような平凡な少年である。
しかし、ある日を境に日常を失った……ぼく『達』は平凡な学生のはずだったんだ、すべてこの「右手」がダメにした
どこにでもいる平凡な高校生だった僕の日常は崩れ去っていった
僕の日常をこんな風にした「やつら」を僕は許さない